

町の考えを問う!

一般質問に6人が登壇

6月定例議会では6人の議員が一般質問を行いました。
 その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。
 なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(8月下旬掲載)

伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

ページ	議員氏名	質問事項
8	矢部 松男	1、給食アレルギーについて 2、給食費未納について 3、少人数学級について
	水上 邦雄	1、乳がん・子宮がん予防医療の充実を 2、幼稚園の増設と通園費の軽減を 3、道路照明・防犯灯の充実を 4、次世代につながる農業を 5、安全・安心・安定・安価な水の供給を
9	永末 厚二	1、栄地区水害対策について 2、第5次伊奈町行政改革について 3、パブリックコメント制度について
	大沢 淳	1、町勢要覧の作成に向けて 2、福祉住宅政策の充実と新しい町営住宅の入居に向けて 3、北部区画整理地内の公園の充実と改善 4、がんセンターの建て替え・拡張にかかわって無線山の緑が失われる問題 5、教育条件・環境整備の充実と改善
10	村山 正弘	1、伊奈町地域防災計画について 2、伊奈町災害時要援護者避難支援プラン全体計画について 3、小室小学校児童通学路について 4、中部特定土地区画整理地内の第一調整池について
	平田 義雄	1、大規模住宅開発に伴う隣接地、小室小学校児童生徒の通学路の安全対策について



議会を傍聴された方からの質問にお答えします

質問事項

議会本会議場で執行部の方が以前より少ないのはなぜですか。

答

町では、4月1日から「統括監制度」が発足いたしました。

このことから、議会本会議の説明と答弁については、原則統括監以上の職にある者があたることになりましたので、議案等に直接関係する担当課長職のみ出席することになったためです。

なお、委員会での説明と答弁は従来どおり町長ほか担当課長が答弁することに変更ありません。

学校給食の食物アレルギー対策は

きめ細かに対応する



やべまつお
矢部松男 議員

問 他自治体では、今年度から小・中学校の給食アレルギーなどにより、牛乳が飲めない児童・生徒のために、代替飲料としてお茶を提供する事業



配膳風景と献立表

を開始。対象とする児童生徒は、牛乳アレルギーや乳糖不耐症が理由で約400人、そのうち半数以上が代替飲料の提供を受けている。費用は全額保護者が負担し、教育委員会が徴収する。

問 当町での食物アレルギーのある児童・生徒数及びその対応は。

答 アレルギーのある児童・生徒の数は30名。牛乳アレルギーの場合は保護者より牛乳の停止が要望され、その他は毎月の献立表、指示書、配合表、成分表を渡し、判断は保護者をお願いしている。また、欠食の場合は給食費の減額に対応。

問 給食費徴収状況及び対応、また、子ども手当を給食費等の徴収金に。

答 21年度決算時で未納額約88万円、面談や訪問等行うが、解決ができない。子ども手当の制度を給食費の滞納解消の機会と捉え、他自治体の取り組みを十分に参考とし、解決に務めていく。

乳がん・子宮頸がん検診
無料クーポン券継続して実施を



昨年度国全額負担、今年度は
国6・町4割負担で実施する

問 5歳刻みの検診、最低5年継続すべきだ。

答 国に働きかけていく。

問 子宮頸がんワクチンの無料接種を。

答 国会で公費負担議論されている。動向を見守りたい。

みずかみくに
水上邦雄 議員

道路照明灯
防犯灯の充実を

問 危険個所リストアップと早期設置を。

答 今後も町民の要望を基本に迅速・計画的に取り組んでいく。

問 私道にも防犯灯の設置を。

答 十分に理解している。課題もあり、近隣の状況調査研究している。

次世代に
つながる農業を

問 新規就農者育成制度を。

答 後継者不足が大きな課題。農業技術・農機具・農地・保管場所など課題は多い。真剣に農業をやりたい人には町として支援が必要と考える。

問 農業後継者認定制度を。

答 現在、埼玉県農林公社に、伊奈町から新規に農業を目指す青年が一名研修を受けている。研修終了後は、新規就農者として認める方向で、農業支援も考えていく。



乳がん検診実施医院

問 水道料金の引き下げを。

答 配水管更新等の費用があり、引き下げは厳しい。



ながすえこうじ
永末厚二 議員

栄地区水害対策、 請願後の具体対策は

測量の結果や過去の冠水状況を検証し道水路の嵩上げ等を実施

決定していないが、今年度は道水路の嵩上げ等による整備をメインに冠水防止をし、各宅地入り口が機能出来るように道路や側溝の高さを調整配慮することで、冠水や浸水の緩和を図りたい。

排水の放流先を綾瀬川に直結できないか

問 埼玉県側で綾瀬川に新たな排水口を許してもらえない話は、以前から

何度も聞いていて、住民は排水路を栄6丁目境から綾瀬川に落してほしいと願っている。もっと積極的な県との交渉を。

答 県から流域排水域の中で、新たな排水口の設置は不可能の回答を得ているが、綾瀬川への排水許容放水量を増すことのない原状の排水量を分散させることで、栄地区等の雨水排水が確保することが可能かどうかの検証を含め、県と協議を粘り強く継続したい。

その他、第5次行政改革、町民コメント制度についても質した。



栄6丁目境の道路冠水
2008年8月29日 午前6時撮影

北部区画整理の公園の 遊具の充実を

遊具の充実を

財政状況を勘案し、
充実に努めたい



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

ながら植栽の必要性について検討する。トイレは必要性、町の財政状況を勘案し検討する。

新しい町営住宅の入居

問 今後の入居に向けての募集・案内は。

答 来年3月に完成する。

適切な時期に募集案内を広報いなに掲載するなど周知したい。

問 入居資格は。

答 同居親族があること、収入が基準の範囲内であること、町内に6か月以上居住していることなど。

北部区画整理地内の公園の充実

問 遊具や植栽の充実、トイレの設置を。

答 樹木の生育状況を見



遊具の少ない公園

がんセンターの建替えて無緑山の緑が失われる

問 影響と対策は。

答 既存のがんセンターの解体後は樹木を植栽する等要望したい。

教育条件・環境整備の充実と改善

問 小針北小の児童増加の影響と対応

答 平成27年度が137

2人37学級で最大値。特別教室の転用で対応したい。

問 学校施設の老朽化対策を。

答 最重要なもの認識しており引き続き推進したい。

小室交番から志久駅方面の手押信号付近、中山住宅側の通学路を拡幅すべきだ

歩道幅が充分でないと認識
信号待ち児童の一時待機
歩道拡幅整備を検討する



むらやま まさひろ
村山正弘 議員

問 小室小学校通学児童保護者から地区懇談会に強い改善要望がある。1mの歩道を拡幅すべきだ。

答 手押信号付近歩道に関連した通学児童の動線がスムーズでない状態は把握している。



手押信号 横断通学路（中山住宅付近）

中部区画整理地内の第一調整池について

問 鉄板の錆による劣化、景観を考慮し防錆塗装をすべきだ。

溜り水による蚊の発生や腐敗水が解消されるか。調整池のカバー面積、貯水量、出口の最大排出降雨量の設計はどうか。

答 鋼矢板は耐久性があるが、景観も含めた防錆塗装は今後の研究課題とする。

溜り水は水中ポンプ等により速やかに排除に努める。

調整池のカバー面積は西側32ha、貯水量は8千^m、満水時の放流能力は降雨量にすると32シ/時である。

伊奈町地域防災計画

4月より3統括監制度を含め課長上級職として7職が位置づけられたので防災計画上の7職の位置づけを質問した。

災害時要援護者支援計画の運用を質問した。

小室小・通学路の安全確保の取り組みは

町・教育委員会・学校・地域ボランティアで守る



ひらた よしお
平田義雄 議員

問 小室小学校近接の屋敷林跡が開発され大規模住宅地となる。この開発工事により、地域住民と

小室小児童の安全等が心配されている。特に開発現場周辺に通学路が通っている。町当局はこの開



工事現場脇の通学路

発許可に当り、児童、地域住民の安全確保を開発業者とどう協議されたのか。

答 開発事業は、敷地面積、7千^mで建築物は専用住宅40戸の住宅開発である。協議は事業者の申請により、関係課間での事前協議を経て、都市計画法により開発許可をした。

許可条件の重点は、工事の安全と開発道路の幅員、歩道用地、公共下水道、防火水槽の整備と設置等を条件とし許可をした。今後も工事を巡っての児童、住民の安全を事業者に指導して良好な地域づくりに努めていく。

問 教育委員会、当該学校の対応は。

答 開発業者に、町関係部局と連携し、警備員等の配置を、学校には児童の安全指導を強めるよう取り組んだ。

問 今後の取り組みは。

答 町、学校、地域ボランティアとの連携で児童の安全確保に努めていく。